

群馬県館林市立第一中学校
第2学年・第3学年出張授業講演会資料

自分の未来を描く時間、自分の未来は、自分で切り開こう

—「人生は青天井、一生青天井」「一生勉強、一生青春」—



2025年6月13日(金)

14:20～15:10

館林市立第一中学校体育館

開倫塾
塾長 林明夫

<はじめに・自己紹介>

(1) ①栃木県立足利高校卒

②慶應義塾大学法学部法律学科卒

③29歳まで慶應義塾大学法学部司法研究生、29歳の時、開倫塾創業。

④世界銀行研究所、ハーバード大学行政大学院国際開発研究所で、各々、公共部門の民営化短期コース修了

(2) ①株式会社開倫塾代表取締役社長

②開倫塾日本語学校理事長・校長

③マニー株式会社社外取締役（2004～2010年）

④学校法人有朋学園有朋高等学院理事長（福島市）

⑤社会福祉法人両崖福祉会特別養護老人ホーム清明苑監事（足利市）

⑥公益財団法人文字・活字文化推進機構評議員

⑦公益社団法人経済同友会幹事（2004年～2023年）

・公益社団法人栃木県経済同友会理事

・群馬経済同友会会員



<はじめに・自己紹介>

⑧足利商工会議所議員

- ・ 足利 5 S 学校役員
- ・ 日本商工会議所多様な人材活躍推進部会委員

⑨栃木県教育委員会栃木県社会教育委員（2004～2012年）

⑩宇都宮大学大学院工学研究科客員教授

- ・ 作新学院大学客員教授

⑪一般社団法人栃木県生産性本部会長

- ・ 栃木県経営品質協議会副会長

⑫開倫ユネスコ協会会長

（3）C R T ラジオ栃木放送・開倫塾の時間「林明夫の歩きながら考える」毎週土曜日午前9時15分～25分担当、39年目。社会人を含め「効果の上がる学習方法」を考える世界に一つしかないラジオ番組です。

○開倫塾は、一生役に立つ、「効果の上がる学習方法」を指導する本格的進学塾です。「教え方日本一」を目指します。



Q 1 : 好きなことばはありますか。あったらご紹介ください。

A : あります。たくさんあります。

- (1) 「練習で泣いて、試合で笑え」
- (2) 「ブルドッグ魂」…食いついたら離すな
- (3) 「一所懸命」…一つの所で命を懸けるくらい熱心に取り組む
- (4) 「スポーツの3つの宝」(小泉信三)
 - ① 「練習は不可能を可能にする」
 - ② 「フェアプレー」
 - ③ 「よき友」
- (5) 「教育ある人とは、一生勉強し続ける人」
- (6) 「価値(大切さ)」 「意味(意味付け)」 「秩序」
- (7) 「深い理解」…学んだことを自分のことばで言える(表現・説明できる)」



＜ここでちょっと一休み「コーヒブレイク」(I)です＞

皆様の好きなことばは何ですか。あったら書いてください。

Q 2 : 働くとは何ですか。仕事をするとは何ですか。



A : (1)仕事とは、「もの(製品)」や「サービス」を「お客様」に提供することです。

○すべての仕事には、「お客様」がいます。

(2)仕事とは「もの(製品)」や「サービス」を「お客様」に提供し、「お客様のお役に立つこと」です。

○「お役に立つ」とは、お客様の「困っていることや問題を解決すること」です。

(3)世の中には、同じようなお客様がたくさんいらっしゃいます。ですから、「仕事とは、お客様や世の中のお役に立つこと」だと考えます。

(4)仕事を通して、「自分の夢や希望を実現すること(自己実現)」もできます。

(5)このように、仕事とは、「お客様や世の中のお役に立つ」と同時に、「仕事を通して自己実現」できる「価値ある(大切に)」尊いものです。

(6)誇りと自信をもって、お仕事に励みましょう。

＜ここでちょっと一休み「コーヒーブレイク」(Ⅱ)です＞

(1)興味・関心のある「仕事」があったら、1つ書いてください。

(2)その仕事はどのような「もの(製品)」や「サービス」を提供していますか。

(3)その仕事のお客様は誰ですか。

(4)お客様の「困っていること」「問題」は何だと思いますか。

Q 3 : 中学校・高校時代に身につけたほうがよいことは何ですか。



A : (1)第一は、「学校の各学年で学ぶすべての教科の内容」です。

①学校の各学年で学ぶすべての教科の内容は、すべて役に立ちます。

②次の学年、次の進学先で役に立ちます。

③社会に出て、仕事、社会的活動、日常生活、よく生きるために、すべて役に立ちます。

④ですから、大切なことは、学校で学んだ「教科書」「教材」「授業ノート」「辞書」「地図帳」「年表」などは、決して処分しないで、大切に保存。

⑤折りに触れて「学び直す」ことです。一生かけて、「学び直す」ことをおすすめします。

○「教科外の教育活動」もすべて役に立ちます。積極的に、しっかり取り組んでくださいね。

(2)第二は、「効果の上がる学習方法」です。

①社会に出てからも、学ばなければならないことが、山ほどあるからです。

②「予習の仕方」「授業の受け方」「ノートの取り方・整理・活用の仕方」「復習の仕方」「定着のさせ方」「テスト勉強の仕方」

③「自学自習の仕方」「長時間自己学習の仕方」

○中学校・高校時代に、少しずつでも、「学び方を学ぶ力」を身につけましょう。

(3)第三は、「辞書」「新聞」「読書」「図書館」に慣れ親しみ、「読解力」を身につけることです。

①「読書」：「読み方がわからないことば」や「よく意味のわからないことば」があったら「気持ちが悪い」と考え、「辞書」を用いて「読み方(発音の仕方)」や「意味」を調べる。

○辞書で調べたことは、「ノート」などに書き写し、その場で、読む練習(発音練習)や「書き取り練習」をして「覚える」。

○「ことばは力」「語彙数は力」です。

②「新聞」：新聞を毎日一面から読む。

○「新聞」を読んで「自分で考える力」「批判的思考(クリティカルシンキング)能力」を身につける。

○「スクラップブック」をつくる。

③「読書」：これぞという本を、毎日30分以上じっくり読む。本は5～6回読む。

○「読書」により「思慮深さ」「自省心」「省察力」を身につける。

○「時空を超えた作者(筆者)との対話」にチャレンジ。

○これぞという文章をノートに書き抜き「書抜き読書ノート」をつくろう。

④図書館：「学校図書館」には毎日行こう。

○公共図書館には、週1～2回行こう。

○図書館を「自分居場所(サードプレイス)」にしよう。

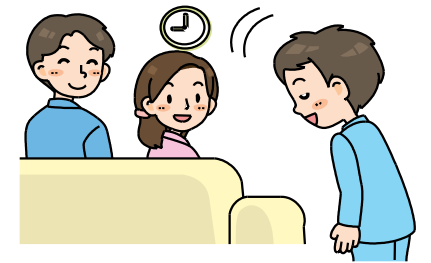


(4)第四は、「5 S」、「Sで始まる5つのことば」です。

- ①「整理」 Seiri・・・「不要なものは処分」
- ②「清掃」 Seisou・・・「きれいに掃除(そうじ)」
- ③「整頓」 Seiton・・・「物は同じところに置く」
- ④「清潔」 Seiketsu・・・「①～③を継続」
- ⑤「躰」 Shitsuke・・・「自分から進んで行く」

(5)第五は、別の意味の「躰(しつけ)」です。

- ①「美しい立ち居振る舞い(たちいふるまい)」・・・「服装第一」
- ②「美しい言葉遣い(ことばづかい)」・・・「敬語表現を含む言葉遣い」(です・ますで話す)
- ③「元気なあいさつ」・・・「あいさつは、こちらからする」



<ここでちょっと一休み「コーヒーブレイク」(Ⅲ)です>

○勉強の仕方がわからず、困っていることがありますか。もし、あったら、いくつか書いてください。

Q 4 : 最後に一言どうぞ。

A : (1) 「自分の未来は、自分で描こう」

○ 「自分の未来は自分で切り開く」

○ 「自分の潜在能力を自分で見出し、自分の力で伸ばす」

(2) 「人生は青天井、一生青天井」

○ 「一生勉強、一生青春」

(3) 自己責任、自助努力

○ 「あきらめないで」

(4) 「積小為大(せきしょういだい)」

○ 小さいことをコツコツ積み上げ、大を為す(志を^なしと^{こころざし}げる)



ご清聴、ありがとうございます。

心から感謝いたします。

ご質問、ご意見、ご感想あれば、ご自由にご発言ください。

感謝

ご清聴
ありがとうございました

